

## 第 11 回 札内川懇談会が開催されました



第 11 回 札内川懇談会の様子（帯広第 2 地方合同庁舎 3 階 共用会議室 1・2）

第 11 回札内川懇談会が、平成 31 年 3 月 6 日（水）に開催されました。

### 出席者（敬称略）

氏名	所属等
石垣 章	十勝川の生態系再生実行委員会
石原 由美子	アトリエゆふ
鏡 坦	帯広ウチダザリガニ・マスターズ
関川 三男	帯広川伏古地区子どもの水辺協議会
高倉 裕一	川と河畔林を考える会
野村 秀夫	NPO 法人十勝多自然ネット
柳川 久	帯広畜産大学
新井 英樹	帯広市教育委員会 学校教育部学校教育指導室 指導主事
阿部 雅行	中札内村教育委員会 教育次長
武田 光史	帯広商工会議所
坂口 惣一郎	幕別町商工会 事務局長
桑田 尚行	中札内村商工会 事務局長
米元 光明	帯広開発建設部 治水課長
神保 章生	帯広開発建設部 帯広河川事務所長
角田 真一	帯広開発建設部 帯広河川事務所札内川ダム管理支所長

## ■懇談会での意見

<懇談会の経過報告と平成 30 年度の活動報告などを受けて>

・夏と冬のトレッキングが年々充実してきている。いろいろ工夫してさらに充実を図っていききたい。

・トレッキングは夏も冬も大変好評で、リピーターも付いている。

・夏のトレッキングでは、釣り雑誌では札内川にいないとされていたサクラマスの子魚の産卵が確認できた。ニジマスやヤマメを釣って、それを皆で食べて参加者にとっても喜んでもらった。そういう川に親しむ体験は、子供たちに忘れがたい良い体験になるのではないか。

・ダム湖の湖面に浮かべたボートで行った釣りは、非日常的で非常に価値のある貴重な体験だった。

・ダム湖は釣りをやる人間にとってはとても魅力的だが、水質、自然環境の保全に十分留意してほしいという地元の方々の意見がある。札内川の清流・生態系の保全について、きちんと話し合っただけのいくやり方でやらなければならない。

・今年初めて参加した「いい川・いい川づくりワークショップ」には、ぜひ来年も参加して、札内川の取り組みを全国にアピールできると良い。

<札内川の水質について>

・ダムの水も伏流水も、札内川の水がおいしいことを検証できると良い。

・札内川らしさと言えば清流日本一だった水質だと思うが、礫河原再生の取り組みに期待する。

<次年度へ向けての提案>

・中札内村で住民の健康増進のためにウォーキング事業を行っているが、札内川懇談会の活動との連携について検討する。

・トレッキングやウォーキングで、ただ歩くのではなく、川の特徴や面白いポイントなど川の風景の中の知識を教えてくれるインストラクターやガイドがつくと人気が出る。

・ダム湖の釣りは問題点を検討した上で、年に 1 回のイベントとしての可能性を模索していく。

・札内川の重要な文化である「川狩り」を復活させたい。

・サクラマスがどの辺にどの様にいるのか、確認された場所をデータとして残していきたい。平成 28 年出水後の川の変化に関する技術検討会での検討と合わせて、将来的に川づくりに対する有用な情報となる。